

令和2年度 第3回図書館協議会会議録

1 開催日時 令和2年11月18日（水曜日）14:00～16:00

2 開催場所 榛原文化センター3階大会議室

3 出席者

牧之原市図書館協議会委員

1名欠席

石間 郁代
大石 武晴
杉本 公恵
鈴木 善彦
早川 和幸
水嶋 みゆき
八木 とも

事務局

教育長

教育文化部長

社会教育課長

社会教育課社会教育係長

牧之原市立図書館長

社会教育課社会教育係主任

社会教育課社会教育係主事

橋本 勝
内山 卓也
八木 康仁
永野 敦嗣
杉村 明彦
水野 秀信
森川 崇之

4 傍聴者 5人

5 議題

【報告】

- ①（仮称）牧之原市立図書交流館の工事進捗について
- ②図書館オンラインシステム IC化の検討について
- ③移動図書館の運行ルート（案）について
- ④図書寄贈及び図書館サポーターの募集について

【協議】

- ①（仮称）牧之原市立図書交流館の愛称選定

6 内 容（要点記録）

（1）開会

（2）議題

【報告】

- ①（仮称）牧之原市立図書交流館の工事進捗について

〈事務局説明〉

（会長）

質問やご意見等ありましたらお願いします。

（委員）

万が一、停電が起こった際に自家発電の設備はありますか。

（事務局）

緊急時点灯する照明がありますが、エアコンなどは止まってしまいます。

（委員）

停電の際、オンラインシステムなどの貸出業務に関してはどうでしょうか。

（事務局）

まだ確認がとれていませんが、できるものがあれば対応したいと思います。

（委員）

窓ができて明るい雰囲気になったと思います。

【協議】

①愛称選定について

〈事務局説明〉

(委員)

思いやアイデアに感心しました。

(委員)

811件も集まり、嬉しく思います。愛称は難しい物にしてしまうと分からないと思います。私は簡単でわかりやすいものが良いと感じました。

(委員)

小さい子でも言いやすい名前が良いと思います。以前、図書館について話し合うワークショップにて、「用が無くてもいってみたいと思える図書館が良い」と高校生が言っていた。無目的でも行けるような場所にしたいです。

(会長)

居場所を基本計画に挙げているので無目的の居場所という言葉、気軽に行くことができるということも大切だと思います。

(委員)

地域に根差したものがいいと思います。

(委員)

図書館という名前は愛称内に入れられないほうがよいのか、確認はとれていますか。

(館長)

名称が図書館ではないというだけです。性質や法的位置づけも図書館です。

(委員)

愛称は単独で使用していくということによろしいでしょうか。

(館長)

条例上の名前は図書交流館です。堅苦しくないように呼びやすいものを募集しました。い〜らや御前崎市の“あすばる”のような扱いです。できるだけ扱っていきたいと思います。

〈投票集計作業〉

(会長)

1位から3位が同点なのですが、順位をつけて出すのではなく、3点そのまま最終選考に提出するのはどうでしょうか。

(委員)

1位票が何票かなど、内訳もお伝えしていただきたいです。

(事務局)

順位がついていなくても選考には問題ないです。

(会長)

4番手の作品も票数が近いですが、どのように扱いますか。

(館長)

本日の投票数を、ありのままお伝えしたいと思います。

(委員)

協議会の委員としては、最終選考に図書館長に入っていただきたいと思います。人数も奇数になりますし、811票の代表として決定の場にでていただきたいと思っています。

(会長)

重要な会議には館長が参加していただきたいと私も思います。館長の意見を含めてもらいたいです。

(委員)

図書館長という立場をもっと強めてほしいです。今までの考えだと、既存のことしかできないと思います。今までの発想を転換する必要があると考えます。町を消滅させないための図書館、その館長、という認識を強めてもらいたい。ボランティアをするうえでも、館長の張り合いがないと困ります。決まり事だからと館長を含めないのならば、踏襲ではないかと思います。

(会長)

市で決められている選考手順だと思いますが、館長を含めて実施していただくことは可能でしょうか。

(事務局)

協議会のみなさんからたくさんの意見をいただきました。この意見を市長に伝えたいと思います。一次選考から本当に様々な意見を出していただきました。みなさんの熱量を伝えます。

(会長)

協議会で切望していた図書館の専任館長には、愛称選定だけではなく、様々な場面で、広い視野で図書館長に出張っていただきたいと思います。館長の重要性を伝えたいです。

【報告】

②図書館オンラインシステム IC 化の検討について

(委員)

IC チップをつけることで館内どこにいても読めるようになりますが、誰かがカフェースで本を呼んでいるときに、システム上は館内在架ということになりますが、どのような対応をするのでしょうか。

(委員)

図書館から持ち出す際は、システム上で区別することは可能でしょうか。

(事務局)

どのような図書館でも同じようなことが起こります。利用者に予約をしていただくことで対応します。読んでいる人への声掛けなどの対応をすることはしません。

(事務局)

どこにあるかは把握することができないシステムです。

(委員)

芝川図書館の学習室では本を使う度に借りていました。今回のシステムでの学習室の利用はとても良いと感じました。

(委員)

換気はどのようになっていますか。ご時世的に気になります。

(館長)

エアコンを強力なもので、外と循環できるものに変更しました。見える場所がない排気口もたくさんあり、万全であると考えています。

(委員)

図書館の滞在時間に 60 分間等の制約などはありますか。

(事務局)

学習室の席は間隔あけるなどの工夫をしようと考えています。民間部分と共に、安全に使えるように検討していきたい。

③移動図書館の運行ルート（案）について

(委員)

利用者が少ないステーションを減らしたのなら、図書館にたくさんの方が来るようになってもらいたいです。

(会長)

今後の運営方針はどのように考えていますか。

(館長)

図書館の来館者、移動図書館の利用者などの要望に随時応えていきたいと考えています。見直す必要があれば変更していきたいです。

(委員)

移動図書館に同行、車で実際について行って様子を確認、お話を伺うことをしたいです。現状が掴めていないです。

(会長)

職員には移動図書館に同乗して、現場をみていただきたいです。

(事務局)

移動図書館には4名乗ることができます。必要なステーションには職員が別の車で向かっていますので、車に乗っていただくことは可能だろうと思います。

④ 図書寄贈及び図書館サポーターの募集について

(委員)

本でなくとも寄贈することは可能でしょうか。茶の小道具などはどうでしょうか。

(事務局)

牧之原のお茶資料はとても少ないのが現状です。市のお茶振興課とお茶の香炉をおくことを、話したことがあります。本以外のものでも寄贈をいただけるのはありがたいことです。

(会長)

真ん中のオープンスペースも活用できると良いと思います。

(委員)

寄贈本の対応に事務局が忙殺されるので、対象に網をかけたほうが良いように感じます。

(事務局)

直接持ってきていただくことの呼びかけはしていません。できるだけお宅に向き、現地で直接本を見て選書をするをしていきたいと思っています。女性職員も多いため、2人1組でお宅に訪問する予定です。

(委員)

図書館サポーターに関して、子ども、生徒にも呼びかけをしていきたいと思っています。今年は冬休みの平日が2日しかない中、やりたい子はいると思います。1日の人数制限はありますか。

(事務局)

相良図書館内に10人いると、多いと感じると思います。来年4月のオープニングイベントは、日を分けて行うことも考えられるのでたくさんの方に携わって

いただけると嬉しく思います。

(会長)

図書館サポーターは現在、どのような状況でしょうか。

(委員)

現在は知人にチラシを配ることを行っています。私のもとには申込みが6人くらいあります。相良高校の校長先生は、生徒を是非参加させたいとおっしゃっています。榛原高校にもお話をしています。

(会長)

現金での資料費の寄附は、どのような手順を考えていますか。現段階で考えている仕組みなどはありますか。

(事務局)

現時点で2つ方法があります。1つは市に指定寄附をいただく方法です。2つ目は、ご本人に本を買っていただき、請求書をお送りする方法です。基金を作成したいと思っていますが、現時点ではまだ存在しません。緊急の課題です。

(会長)

基金ができるのなら、進んで発信してほしいです。

(委員)

学校や県立図書館など、館外の施設等との連携がどのようになってゆくのか教えていただきたいです。

(事務局)

静岡県内での横断検索ができるようになります。榛原図書館ではセルフ貸出機は導入されません。ICチップは図書交流館内の資料のみに貼付することになります。学校には直接オンラインでは繋がっていませんが、学校司書の方や司書教諭の方がホームページ上から検索し、図書館に依頼することができるようになるので、利便性が高まるかと思えます。また、2か月に1回程度、学校司書連絡会にて情報を共有しています。今後はさらにその活動を拡充していきたいと考えています。